

WS 7	新しい個体の形成—発生・生殖生物学への誘い			10～12回以外オンライン併用
	【定員】40名      【受講料】 2年・1年会員ともに17,160円    聴講生18,590円			
	『自然科学』【ワークショップ】科学      【時 間】 毎回10時00分～12時00分 (計12回)			
概要	種の維持にとって必須の要件である新しい個体の形成は、発生と生殖によって担われている。新たに形成された個体が、成熟し、次世代の個体を形成し、やがて老化して死に至る全過程を発生というが、この生命の連続を次世代の形成という観点を強調して捉えた時には生殖と呼ばれる。ここでは、主に動物における新個体の形成を、発生と生殖という二つの観点から学ぶとともに、受講者が関連する実験を自ら企画・実行し、成果を報告することを目指す。			
回	月/日(曜)	会場	学 習 内 容	講師名(敬称略)
1	4/13 (木)	川崎市 生涯学習 プラザ	発生と生殖、発生生物学の略史	東京工業大学名誉教授 星 元紀
2	4/20 (木)		性という生物現象、性の決定	
3	4/27 (木)		性と生殖	
4	5/11 (木)		生殖様式の転換とその制御	
5	5/18 (木)		新しい個体の形成、生殖細胞の形成、受精	
6	5/25 (木)		発生様式と進化	
7	6/8 (木)		細胞の分化	
8	6/22 (木)		氏か育ちか	
9	6/29 (木)		再生、癌	
10	7/6 (木)		* 実験 1 ヒトデの卵成熟に関する実験	
11	7/13 (木)		* 実験 2 ウニの初期発生に関する実験	
12	7/20 (木)		* 実験結果の発表と討論	
連絡 事項	* は実験および実験結果の発表と討論です。オンライン受講の方も会場にお越しください。			